岩手県総合計画審議会
第１回岩手の仕事部会

（開催日時）平成 29 年 11 月８日（水）13：30～14：20
（開催場所）サンセール盛岡　２階「福来（南）」

１　開　会
２　委員及び事務局自己紹介
３　議　事
（１）部会長及び副部会長の選出について
ア　部会長及び副部会長の選出
イ　部会長挨拶
（２）部会審議の進め方について
（３）次回の部会に向けて
（４）各委員からの御発言
（５）その他
４　閉　会

出席委員
五日市知香委員、黒沢惟人委員、谷藤邦基委員、森奥信孝委員、八幡博文委員、菅原紋子委員、林晶子委員

欠席委員
千田ゆきえ委員

１　開　会

○小野政策地域部政策推進室政策監　それでは、委員の皆様おそろいでございますので、ただいまから岩手県総合計画審議会第１回岩手の仕事部会を開催させていただきます。

私、事務局を担当いたしております県の政策地域部政策推進室の小野でございます。よろしくお願いいたします。それでは、暫時進行役を務めさせていただきます。

当岩手の仕事部会でございますけれども、後ほど御説明いたしますけれども、県の政策の中で産業でありますとか、雇用、観光、農林水産業など、仕事、雇用、こういった分野についての議論を今後進めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

２　委員及び事務局自己紹介

○小野政策地域部政策推進室政策監　それでは、先ほどの審議会におきまして部会が設置されました。お集まりの皆様が部会のメンバーとして就任されましたので、初めに委員の皆様から一言ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。その後、恐縮ですけれども、事務局、担当のほうからも御紹介をさせていただきます。

それでは、お手元の資料の次第の次にございます出席者名簿の順番でそれぞれ自己紹介

をお願いしたいと思います。
　それでは、恐れ入りますけれども、初めに五日市委員、お願いいたします。

○五日市知香委員　パイロットフィッシュの五日市と申します。よろしくお願いいたします。私、自己紹介ということで、どういう仕事をしているかというと、食品関係の商品開発の仕事を手伝っています。新商品の企画から商品化までの計画、パッケージ材、あと商品によっては販路までトータル的にコーディネーターをしています。最近新商品だけでなく商品の改良とかも御相談がありますが、そういったお手伝いをしています。特に生産者さん、農業者さんとか漁業者さんの商品開発、６次産業化のほうとか、あとは小規模事業主さんの商品開発を主に手伝っております。ただ、県内だけではなく、どちらかというと最近県外の仕事のほうが増えて､ほとんど岩手にいないような感じにはなっておりますが、全国いろいろなところも商品開発のお手伝いをしている状況です。どうぞよろしくお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。では続きまして、黒沢委員、お願いいたします。

○黒沢惟人委員　ＮＰＯ法人ｗｉｚの黒沢と申します。ｗｉｚは、地元企業を県内外の学生とつないで１カ月から２カ月間、滞在型のインターンシップ、実践型のインターンシップと僕らは呼んでいますが、それを岩手県内で実施している団体でございます。その延長線上で、今年度から主に沿岸部の企業さんの中途採用支援、いわゆる右腕人材支援の採用支援も始めていて、今回この部会に参加させていただくことになりました。僕自体は、もともと東京でサラリーマンをしていたのですが、震災後にＵターンをしてきて、法人を同時期のＵターン者と一緒に立ち上げております。また、僕も、ｗｉｚでスタッフ７名を雇用している身ということで、経営者の立場としても少し御発言できればなと思っております。よろしくお願いします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　続きまして、谷藤委員、お願いいたします。

○谷藤邦基委員　株式会社イーアールアイの谷藤と申します。イーアールアイという会社は、いわゆるＩＴ系の会社ですが、もともと私が総合計画審議会の委員になったときは岩手経済研究所というところの研究員をしておりまして、その関係で委員を拝命しております。したがって、今の仕事は直接は関係がないだろうなと思っておりまして、その辺りの詳しいことは後ほどお話しさせていただきたいと思いますけれども、そういった立場でございますので、よろしくお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございます。
　本日千田ゆきえ委員は御都合により欠席でございます。
　続きまして、森奥委員、お願いいたします。

○森奥信孝委員　久慈市から来ました岩手モリヤ株式会社の森奥と申します。弊社では、婦人既製服の縫製という縫製工場をやっています。仕事部会では、産業と雇用という分野で携わってまいりたいと考えています。よろしくお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございます。
　八幡委員、お願いいたします。

○八幡博文委員　八幡博文と申します。日本労働組合総連合会岩手県連合会、非常に長いので、略称連合岩手と申し上げております。先月 25 日に事務局長から会長に就任しました。よろしくお願いいたします。連合岩手は、簡単に言いますと、岩手県の労働組合の 32 の産業別労働組合の組織で、４万 8,000 名の組織人員となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございます。
　本岩手の仕事部会設置に当たりまして、新たに２名の委員の皆様をお迎えしております。
　それでは、初めに菅原委員、お願いいたします。

○菅原紋子委員　有限会社ファーム菅久の菅原と申します。雫石町でお米をメインに生産、販売をしております。きょうから委員になりまして緊張しておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございます。
　林委員、お願いいたします。

○林晶子委員　つなぎ温泉で四季亭という宿屋をやっております林と申します。宿屋というのは、きつい、汚い、給料安い職場と言われており、ちょっと勉強しなさいということでここに参加させていただいていると思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございます。
　続きまして、事務局のほうから簡単に自己紹介いたします。

○阿部商工労働観光部商工企画室企画課長　いつも皆様大変お世話になっております。商工労働観光部商工企画室の阿部と申します。商工関係部門で皆さん大変日ごろからお力をおかりしておりますけれども、また今後ともよろしくお願いいたします。

○照井農林水産部農林水産企画室企画課長　日ごろお世話になっております。岩手県農林水産部農林水産企画室の照井と申します。以前私も政策推進室にいまして、お世話になった審議会の委員の皆さんもいらっしゃって、懐かしいなと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　改めまして、政策地域部政策推進室で政策監を務めております小野でございます。本日から５回の部会開催を予定してございますけれども、委員の皆様に充実した御議論いただけるように事務局としてさまざまな資料、あるいはデータ等もそろえてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○沖田政策地域部政策推進室主査　同じく県の政策推進室、沖田と申します。まず、新たに本日委員に御就任いただきましたお二方につきましては、大変お忙しいところお引き受けいただきましてありがとうございます。また、午前中から総合計画審議会の委員の皆さんも引き続きの御議論ということで大変お疲れさまです。本日を含めまして５回の部会を予定しておりますので、さまざまお願いすることも出てまいりますけれども、私どもとしてもいろいろな御準備をしながら議論いただけるように準備してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○及川政策地域部政策推進室主事　同じく政策推進室の及川と申します。充実した議論がなされるように精いっぱい準備のほうを頑張ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

３　議　事

（１）部会長及び副部会長の選出について

ア　部会長及び副部会長の選出

イ　部会長挨拶

（２）部会審議の進め方について

（３）次回の部会に向けて

（４）各委員からの御発言

（５）その他

○小野政策地域部政策推進室政策監　それでは、続きまして３の議事に移りたいと思います。

議事の（１）部会長及び副部会長の互選につきまして、当審議会部会におきましては委員の皆様の互選により、部会長及び副部会長を選出していただきます。本来であれば、部会長選出までの間、仮の議長をお願いするところではございますけれども、僭越ではございますけれども、私のほう、事務局が進行を務めさせていただきたいと思います。よろしゅうございますでしょうか。

「異議なし」の声

○小野政策地域部政策推進室政策監　では、恐縮ですが、議長役を務めさせていただきます。

まず、部会長及び副部会長の互選についてですけれども、先ほど審議会において審議、了承いただきました岩手県総合計画審議会運営要領に基づきまして、部会長お一人、副部会長お一人、それぞれ委員の互選により決めさせていただきます。

それでは、どのような形で互選をすることといたしましょうか。もしもよろしければ、事務局のほうから提案させていただきたいと思いますけれども、よろしゅうございますでしょうか。

「異議なし」の声

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございます。
事務局といたしましては、部会長を谷藤邦基委員に、副部会長を五日市知香委員にお願いしたいと考えておりますけれども、いかがでございましょうか。

「異議なし」の声

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございます。
それでは、部会長を谷藤委員、副部会長を五日市委員にお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。
谷藤部会長には部会長席のほうにお移りいただきたいと思います。
それでは、谷藤部会長から一言御挨拶をお願いいたします。

○谷藤邦基部会長　このたび、部会長を仰せつかった谷藤でございます。私も長いこと委員をやってはいるのですが、こういう立場になるのは初めてであります。先ほど菅原委員のほうから緊張していますという話がありましたが、それは私も同様でありまして、時間配分を考慮しながら議事進行に当たらなければいけないなと思っております。ちなみに、この後若者部会への参加を御予定の委員もおられますので、きょうの第１回目はある程度淡々と進行させていただきたいと思っておりますが、大体これから半年間程、仕事部会で審議を進めて、次の総合計画に反映する政策を検討していただければなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　ありがとうございました。では、これ以降の進行は谷藤部会長にお願いいたします。

○谷藤邦基部会長　それでは、議事（２）の部会審議の進め方についてに入りたいと思います。
では、事務局のほうから御説明をお願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　それでは、資料１によりまして部会審議の進め方について御説明申し上げます。資料の１御覧いただきたいと思います。
まず、１の部会の役割でございます。次期総合計画の策定に当たりまして、長期的な観点、先を見通した上で 10 年間の計画をつくってまいりたいと思います。そうしたときに、例えば外国人観光客によるインバウンド、外国人労働者の増加など、経済・社会のグローバル化の進展でございますとか、あるいはＩｏＴ、ＡＩなどの高度情報化、さらには有効

求人倍率が 1.45 となるなど人材不足といったことが続いております。そうしたさまざまな地域経済、産業の状況の変化への対応でございますとか、農林水産分野におきましても地域のそれぞれの特性といいますか、強みを生かしたブランド化の推進、それから農山漁村の維持のための後継者の確保などが重要な課題となっております。

こうしたことから、当部会におきましては、県民の仕事、それから地域の産業、経済といった切り口から、例えば労働生産性の向上などによるやりがいのある仕事の創出でございますとか、岩手の強みを生かした農林水産業の振興を図るための取り組みの方向性などについて、集中的に御審議いただければと考えております。また、仕事の創出、働き方といったことにつきましても御審議いただければと思います。

２の主に所掌する政策分野、仕事でございますので、産業・雇用、それから農林水産業などでございます。ただ、本部会の他に暮らし部会、学び・文化・スポーツ部会等がございますけれども、少し議論が重複することもあるかと思います。仕事部会としては今申し上げたような政策分野がメインになるかとは思いますけれども、例えば教育との関係といったこともあるかと思いますので、そういった御意見はぜひ頂戴できればと思います。

それから、３の主に関連性の強い 12 の幸福領域につきまして、総合計画審議会本体の委員の皆様には既に昨年度来、幸福といった観点でさまざま御議論いただいておりますけれども、新たに委員になられた方もお二人いらっしゃいますので、恐縮ですけれども、資料の３を御覧いただければと思います。昨年度から今年度前半にかけまして、岩手県立大学の吉野先生に座長をお願いいたしまして、「岩手の幸福に関する指標」研究会にて議論を進めていただきました。次期総合計画では、幸福をキーワードといたしまして、岩手県民の幸福度が高まるような取組を次期総合計画の中に盛り込んでいければと考えております。その中で、右側のほうに図がございますけれども、主観的指標として、大きく仕事、収入、居住環境から歴史・文化、自然環境まで 12 の要素、領域が書いてございます。これらにつきましては、この研究会の中で御議論いただいた中で、一人一人が幸福について考えるとき、こういった領域を重視されると、こういった領域をもとにそれぞれが幸福についてお感じになるといったことを研究会報告書の中で報告を頂戴したところでございます。

そうしたことを踏まえて、資料の１にお戻りいただきたいのですけれども、３の主に関連性の強い 12 の幸福領域でいいますと、当仕事部会では、12 領域のいずれも関係してくると思いますけれども、特に関連性の強い領域といたしましては、仕事や収入かと思います。さらには、例えば働き方との関係での余暇でありますとか、家族とか、コミュニティー、歴史・文化といったものも関係してくるかと思います。部会での御議論に際しましては、ぜひこの 12 の領域の何に関係してくるのか、こういった視点もお持ちいただいて、今後さまざま御意見、御提言等をいただければと考えているところでございます。当然今申し上げましたように、12 領域がございますので、仕事、収入にかかわらず、他の幸福の領域についても御意見等がございましたら、あわせて頂戴できればと考えております。

それから、下のほうに参りまして、主な審議内容でございますけれども、上記の産業、雇用、それから農林水産業の分野につきまして、（１）、（２）に書いてございます次の事項について今後御審議いただきます。まず、（１）現状と課題についてですが、分野ごとの岩手県の現状と課題を整理してまいりたいと思います。それから、（２）目指す姿といたしまして、今後 10 年間でどういった方向を目指すのか、その中でどのような取組が出てくるの

かといったことについて、御議論いただければと思います。

それぞれにつきまして、例えば（１）の現状と課題でございますけれども、本県の強みや弱み、いわゆるリスクとチャンスの分析を今県庁内で、各分野について進めておりますので、部会に先立ち、そうしたたたき台をあらかじめお送りいたしまして、御覧いただいた上で、こういったところを強めていくべき、あるいはこういったリスクとしてとらえ今後しっかり対応していくべきといった御議論を頂戴できればと思います。そうしたものを踏まえて、（２）の目指す姿として、リスクを減らし、そしてチャンスを生かす、あるいは強みを生かすために、どういった方向を目指していくのかといったことについて御意見を頂戴できればと思います。これにつきましても、たたき台といった形で事務局から各分野でこういった方向を目指してはどうかといったものをお示ししたいと思いますので、委員の皆様からさまざまな御意見を頂戴できればと考えております。

それから、下のほうに部会の各回における主な審議の内容について書いております。本日第１回目でございますので、御覧のような形で、部会審議の進め方、そして次回の部会に向けてにつきまして御意見を頂戴してまいりたいと思います。12 月中、下旬に開催したいと思っておりますけれども、第２回の部会では先ほど申し上げました現状と課題、そして今後の方向性につきましてたたき台をもとに御議論をいただければと思います。そして、年明けの２月 13 日を予定しておりますけれども、第３回の部会ではそれらを踏まえた仕事分野での目指す姿、具体的な展開方向について、これにつきましてもたたき台をお示ししたいと思いますので、それらについて御意見を頂戴し、年度明けの４月になりますけれども、素案の中間答申、当部会所掌部分についてさらに御議論いただいた上で、５月中間答申案、中間答申案、最終案ということになりますけれども、これにつきましておまとめいただければと考えているものでございます。

委員の皆様の御審議が円滑に進みますように、事務局から今申し上げましたようなさまざまな案やたたき台、データ等をあらかじめ御提供しながら御意見を賜ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

進め方についての御説明は以上でございます。

○谷藤邦基部会長　ただいま部会審議の進め方について資料１を中心に事務局のほうから説明いただいたわけですが、これについて何か委員の皆様から御質問等あればお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

形式的な話なのですけれども、第３回部会と第５回部会ですか、審議会本体とあわせて開催ということなのですが、その場合本日のように、午前午後にまたがって開催するような想定でしょうか。

○沖田政策地域部政策推進室主査　２月の審議会では、知事に出席していただくことを予定しておりまして、おおむね３時から５時で知事の日程を確保しておりますので、午後の御案内を想定しております。例えば部会について２時から４時までで開催し、審議会を４時から５時に開催するですとか、そのような日程になると思うのですけれども、その辺りは議論のボリュームのバランスを見ながら、また御案内させていただきたいと思います。いずれ午後の開催を予定しております。

第５回は、まだ日程を調整しておりませんので、知事の日程と調整して、委員の皆様の日程と調整して御案内したいと思います。

○谷藤邦基部会長　わかりました。審議会本体となると知事の日程次第となりますので、委員の皆様には、今の御説明を念頭に置いた上で日程の確保等よろしくお願いしたいと思います。

森奥委員、お願いします。

○森奥信孝委員　日程なのですが、第３回は２月 13 日と決まっているのですけれども、来月に予定されている第２回の日程はまだ決まっていないのでしょうか。

○沖田政策地域部政策推進室主査　年末のお忙しい時期の開催となりまして大変恐縮なのですけれども、先日委員の皆様に、第２回の御都合をお伺いしています。早いうちに委員の皆様の御回答を調整しまして、できるだけ多くの委員に御出席いただけそうな日程で御案内させていただきたいと考えております。

○小野政策地域部政策推進室政策監　年末のお忙しいところで申しわけございません。直ちに案をつくりまして、委員の皆様に御連絡したいと思います。また、あわせまして、４月、５月につきましても、年度当初の御多忙な時期かと思いますので、できるだけ早く日程調整をしてまいりたいと思います。

○谷藤邦基部会長　他にはよろしいでしょうか。

「なし」の声

○谷藤邦基部会長　では、議事（３）に進みます。次回の部会に向けてということで、事務局から御説明お願いいたします。

○小野政策地域部政策推進室政策監　それでは、次回の部会に向けてということで、資料２を御覧いただきたいと思います。

こちらに記載しておりますように、先ほど御説明したとおり次回は、いわゆるＳＷＯＴ分析、本県の強みや弱み、チャンス、リスク、こちらについて分析結果をあらかじめお送りし、委員の皆様に御覧いただいた上、委員の皆様から当部会の分野について、ほかにもこういった強みがある、あるいはリスク、こういったところに対応しなければいけないといった御意見も頂戴したいと思いますし、それらを踏まえて今後 10 年で取り組むべきこと、方向性などについて御意見を頂戴したいと思っております。

また、御説明いたしましたけれども、その際 12 の幸福領域、次期総合計画、この幸福をテーマにこれから組み上げていきたいと思っております。当仕事部会も含め、暮らし部会、あるいは学び・文化・スポーツ部会もそうですけれども、この 12 領域とどういう関係性を持って政策を進めていくのかといった観点でこれから総合計画を組み上げていきたいと思

っておりますので、ぜひ資料を御覧いただきながら、この 12 領域も仕事の関係で重要だよなといったところについても御意見を頂戴できればと思っております。

後ろのほうには、先ほども御覧いただきましたように、御参考として、資料３から５までをお示ししてございます。資料３につきましては、先ほど御説明したとおり、「幸福に関する指標」研究会の報告書の概要でございます。

また、資料の４でございますけれども、12 の幸福領域について、どんな切り口があるか、例えば仕事分野ですと岩手が目指すそれぞれの方が希望する仕事につき、安心して働くことのできる産業はどういった産業の形になるのか、あるいは産業構造といったことがあるかもしれません。そういったところも一つの論点になるのではないかと考えておりますし、下のほうには切り口と記載してございますけれども、希望する仕事につくために、あるいは安心して安定的に働くことができるために、どのような方法が必要なのかといったことも、一つ大きな鍵になるかと思っております。この主な論点は、あくまでも事務局でいろいろ知恵を絞りながら若手で考えてみたものでございますので、これが全てではございません。キーワード等も職員で考えたものでございますので、まだまだ足りない項目もあるかと思いますが、御参考にしていただきまして、次回 12 月の御議論では、これらも御覧いただきながらお願いできればといったものでございます。

次に、資料５につきましては、総合計画審議会の委員の皆様には既に昨年度の審議会で御覧いただいたものでございますけれども、これまでの世界、日本、岩手の時代の潮流、下のほうには具体的な項目ごとに、今後社会環境変化、こういったことがあるのではないかといったことも、少し大きなものではございますけれども、まとめたものでございます。特に仕事の分野につきましては、経済・社会のグローバル化でございますとか、あるいは３のところにあります高度情報化、あるいは科学技術の進展といった点、イノベーションの関係や、次のページにございます人口減少による大きな影響が出てくると思っております。また、働き方のところでは、右側のほうに記載がありますように、３のライフスタイル・価値観の多様化といったところもあるかと思います。そういった大きな潮流と、その下に岩手に引きつけて、どういった生活環境の変化があるのかについて、人口減少、それから復興の関係、文化・スポーツ、若者・女性の活躍などについて記載しております。これにつきましても改めて御確認をいただければと思います。

最後の参考につきましては、これまで国で、かつて全国総合開発計画といったようなもの、あるいは国土形成計画といったものが累次つくられておりますし、岩手県の総合計画につきましては一番下、岩手県経済計画から始まりまして、これまで９本の計画がつくられております。これから委員の皆様に御審議をお願いする計画が本県にとって 10 本目の計画となるものでございます。これまでの岩手県の時代認識でありますとか、取組の流れも記載しておりますので、御参考にしていただければと考えております。

以上、資料２におきましては次回の部会について御説明いたしました。お手元に分析の資料をお届けしてございませんので、まだ御議論いただけない状況で大変恐縮でございますけれども、次回 12 月の部会に向けましてあらかじめお送りいたしますので、御検討につきましてよろしくお願いいたします。

○谷藤邦基部会長　ただいま事務局から次回の部会に向けた準備などに関するお話があり

ましたが、これについて皆様から何か御質問等ございますでしょうか。

○小野政策地域部政策推進室政策監　これから具体的に議論をする中で、必ずしも県が全てデータを持っているものではないので、お答えできるかどうかは検討させていただきたいと思いますけれども、こういった資料が必要ではないかといったものがございましたら、事務局、私どもに御連絡いただきますと、議論をより充実させていただくために資料をいろいろ準備してまいりたいと思います。お示しすることが難しいものもあるかと思いますけれども、ぜひお声がけいただければ準備してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○谷藤邦基部会長　多少難しいと思われるものでも事務局で御検討いただけると思いますので、遠慮なくおっしゃっていただければいいのではないかと思います。

次回の部会で委員の皆様からどのような御意見をいただくかについては、主に資料２に記載してありますので、その辺りを御覧いただきながら、次回に向けて準備していただければなと思うところであります。

特に委員の皆様から御質問等がないようでしたら、議事を進めたいと思いますけれども、よろしいですか。

「はい」の声

○谷藤邦基部会長　では、議事（４）に移ります。皆さんから一言ずつ御発言いただくということで、恐れ入りますが、着席順に五日市委員からお一人様２分ぐらいのところで、思うところをお話しいただければと思います。

○五日市知香委員　やはり人口減少ということがどの地域でも課題になっていると思います。そのために、新しく人を受け入れるためにいろいろ考えることも必要だと思うのですけれども、地域おこし協力隊さんがいらっしゃいますよね。任期は３年です。３年だと、まだ残っていたいのだけれども、地域で暮らせない、生活できないということで、泣く泣く出られていく方も多いと思うのです。せっかく岩手で地域のために働きたいというので来た方、好きになってこれからも住みたいという方が出ていかないような、県だけではなく、各市町村のほうでも何かそういう、３年の任期が終わってもその方たちが暮らしていけるような制度ですとか、何かそういったものを考えたほうがいいのではないかと見ていて思っています。ですから、新しく受け入れることだけではなく、今いる方のことも考え、大切にしてあげるというのが必要になってくるのではないかなと思っています。

また、農業や水産業に関わる仕事をさせていただいていますけれども、これからの後継者という問題があると思っています。どうしたらいいのかについては、どうやってその方たちが収入を得ることができるか。きちんと収入を得ることができれば、農業でも、水産業でも、もちろん林業でも続けていきたいという方が多いと思うのです。北海道などではそういう事例がたくさんありますので、岩手でもそういった、それこそきつい、汚い、給料安い、まさにそういうイメージがあるので、きちんとした収入を得られる方法というの

を考えていければ、後継者という問題が少し改善されていくのではないかなと思っています。
　以上です。

○谷藤邦基部会長　ありがとうございました。
　では、黒沢委員、お願いします。

○黒沢惟人委員　早速データの要求をしたいのですが、おそらく雇用対策・労働室で作成しているいわてで働こう推進協議会で提出された資料を拝見しているのですけれども、やはり企業によって、いくら人材を求めているといっても、求めている人材の層にはそれぞれ違いがあると思っています。いわゆるおおまかに言うとブルーワーカーなのか、ホワイトワーカーなのかみたいなこともあります。ホワイトワーカーの中でも、いわゆるテクニカルな人たちなのか、営業などの企画部門の人なのか、事務寄りの人たちなのかといったようにそれぞれの職種があると思うのですけれども、今県内のデータを見ていると、高卒の方は大体 70%弱くらいが県内に就職しています、短大、専門卒だと 60%ぐらいで、大卒だと 40%となっていますけれども、ではこの内訳はいわゆるブルーワーカー、ホワイトワーカーでいうとどんな割合になっているのかということと、またその中でいわゆる民間企業なのか、パブリックセクター、公務員なのか。提示されているデータをおおまかに見ると、おそらく大卒で県内に就職している 45%のうちの 15%か 20%ぐらいが公務員だと思うのです。そうすると、3 割ぐらいしか民間に就職していないということになりますので、その中でどういった分野への就職を望んでいるかということがわかると、今後の議論する上で望ましいのではないかと考えています。
　それと同時に、以前個人的に探したこともあったのですが、Ｕターン者のデータもありますでしょうか。おそらく、今後 10 年間について議論する上では、かなり肝心ではないかと思っておりますが、私が調べた範囲ですと東部エリアのＵターン率は低いはずです。そういったデータもお示しいただけるとよいのではないかと考えています。また、先程五日市委員から協力隊のお話があったのですけれども、私も、県内の協力隊の約３分の１の方に関わっているのですが、そのような今までにない、岩手にいなかった属性の人たちがせっかく県内に流入している状況にありますので、そうした方たちを民間企業なのか、私たちのようなＮＰＯセクターなのか、またはパブリックセクターなのかも含め、どう生かしていくかというのを議論していく上でもそういったデータが必要ではないかと思っていますので、よろしくお願いします。

○谷藤邦基部会長　では続いて、森奥委員、お願いいたします。

○森奥信孝委員　この場を借りて県内各地にあり、特に北岩手地域においては基幹産業となっている縫製業の紹介をさせていただきたいと思います。実は縫製業は北岩手地域に数多く集積しています。このことは全国的にも認知されています。その特徴の一つは、同じ縫製でもさまざまなアイテムがあるということです。二戸市、一戸町、久慈市の県北地域だけでも、紳士服のイージーオーダー工場、同じ紳士服でもジャケット専門工場、婦人服

であればジャケットやウールコートの工場、フォーマルウエア工場、ドレス専門工場、また、子供服工場、ユニホーム工場、アンダーウエア専門工場、パジャマ工場、武道着工場、水着工場など、さまざまなアイテムがあるのです。同じ縫製でも、それぞれのアイテムによって使う機械も違ければ、つくり方も違いますが、その共通点は労働集約産業であるという点です。各社とも優秀な技術者のもとで人の手によって縫製されています。

もう一つの特色は、従業員が女性主体であるという点です。ほとんどの企業で９割以上が女性従業員で構成され数多くの女性が活躍しています。そして各地域に非常に根づいている産業でもあるのです。久慈地域だけでも、製造業の約２割が縫製業です。そういう意味では、雇用という面においてもその地域の基幹産業的な役割を果たしています。

もともと縫製業は全国に多くの企業があり、そこで働く人たちも数多くいたのですけれども、過去 12 年の間に半分になってしまいました。安価な労働力を求めて、中国を初めとする海外生産に移行して、国内の工場がどんどん減ってしまい、そこに働く技術者の数も減ってしまったのです。しかし、この北岩手の地域には数多くの縫製工場が残っているのです。これも厳しい業界の中で珍しいことです。では、なぜ残っているかというと、それぞれのアイテムの中で非常に高い技術力を持っているということで、レベルの高い優秀な技術者が育っていることが共通点だと思います。

ただ、各企業では多くの問題を抱えていて、中でも技術者である労働力不足が非常に大きな問題になっています。やはり人口減少問題イコール労働人口減少なわけでして、特に我々のような労働集約産業というのはもろにそのあおりを受けてしまいます。下請の中小企業であるため業績などの問題で、なかなか人件費も高くできないという事情もあり、抱えている問題はたくさんあります。今後、この委員会において中小企業、製造業、女性が活躍する企業、北岩手地域など様々な観点から問題点を探し、岩手県民の幸福に結び付けられる議論や意見などを述べていきたいと思っています。

○谷藤邦基部会長　では続いて、八幡委員、お願いいたします。

○八幡博文委員　課題の認識は皆さんと同じです。一番の課題は、今もありましたけれども、働き手が少ない、人材不足というのが非常に大きな課題だと思っています。特にもサービス業などを含めて本当に人材不足で、それが企業の存続にかかわってきている状況であると思っていまして、それを乗り越えていくためにどうやったらいいのか、どのように知恵を出していくのかというのが大きな課題です。そのためには、ＡＩですとかＩｏＴといったものはどうしても避けては通れない分野になっていくのではないかと思いますので、その辺りと働き方改革との兼ね合いをどう議論していくかというのが一つのポイントだと思います。

もう一つは、先ほどもお話がありましたけれども、高齢化の問題があります。ちょうど 2025 年が団塊の世代の方々が 75 歳になるピークに達する時期になりますから、その時期に向けて、先ほどお話のあった幸福感について考えると、ただ単に年を重ねて介護などでお金が無くなっていくというよりは、いかに幸せに暮らしていけるかということを大きなポイントにしていくべきだろうなと思っていますので、そういう課題認識で議論に参画していきたいと考えています。

私どもの組織は労働組合ですが、労働組合の組織率がこのところ低下してきていまして、現在全国で約 17%程度です。岩手でも同様に非常に低下しています。組織の人員でいうと、若干連合は増加しているのですけれども、そのほとんどはパートの皆さんに加入いただいてという形になっています。そういった意味では、健全な労使関係を築くことが会社の発展にも寄与する、つながっていくのだろうと思っていますから、そういう観点でも少し議論させていただければと思っています。

以上でございます。

○谷藤邦基部会長　ありがとうございました。

では、菅原委員、お願いいたします。

○菅原紋子委員　当社は、私の父が社長をしていまして、私は就労して８年目になりました。その中で、若い方たちと接している中で感じているのが、農家を維持していくとか、新規就農者を増やすとことを考えると、やはり収入というものがすごく必要になってくるのだろうなと感じています。私はちゃんと給料としていただいている方ですけれども、親元就農をしている方では、やはりお小遣い程度しかもらえないという環境にあるので、家族で農家を経営している方たちは収入の面ですごく厳しいということをよく聞きます。

また、先程もお話がありましたけれども、高齢化社会ということで、漏れなくうちの社員も高齢化が進んでいまして、今はまだ春から秋の忙しい時期に当社に来ていただいていますけれども、その方たちがどんどん引退していくと若い人たちを入れなければいけなくなります。そうしますと、年間を通しての仕事が必要になってくる。雫石なので冬場の仕事は何があるのだろうと考えた場合、除雪作業やスキー場で働くということもできますけれども、正式にファーム菅久の社員として働いてもらうために、冬場の仕事の確保をしなければいけないし、併せて収入も確保しなければいけないということについて、とても悩んでいるところです。

もう一つは、父の年齢と私の年齢を考えると、そろそろ世代交代を考えなければいけないなと思っているところです。社長の仕事ぶりを見ていると、朝から晩まで働いているし、地域の行事、仕事、あとは農業関係の役員も務めていて、私もその父のように働けるかと考えると、やはり無理がある。そうすると、従業員の方たちに頼らなければいけなくなってくるので、どうやって人材を確保するか、仕事をきちんと覚えてもらえるかということはとても悩むところです。やはり父の名前があって今の私がいるので、大分プレッシャーがかかっているところです。それに負けず頑張っているところですので、どうぞよろしくお願いします。

○谷藤邦基部会長　ありがとうございます。

では、林委員、お願いいたします。

○林晶子委員　いいお父さんがいて幸せですね。父がいなくなった途端に、本当に後ろを向いても誰もいないという心細さというのはすさまじいものがあり、今でも感じています。もう亡くなって 22 年ですけれども、それでも今でもとてもプレッシャーに感じています。

冒頭、旅館の仕事はきつい、汚い、給料が安いと言ったのですが、本当に人材不足が大変で、恐らくこれからもっともっと厳しくなってくると思っています。五日市委員がおっしゃった農業や漁業の方たちもそうですけれども、私たちの職業も本当に就職してくれる人が少なくなっています。その一方で、ビジット・ジャパン・キャンペーンによって、2020年までに1,000万人にしましょうと言っていた訪日外国人が、昨年の時点ですでに2,400万人に達しているわけです。大震災の影響もあって東北には一番外国人観光客が少ないのですけれども、それでも私たちのような山奥の小さな和風旅館でも、10月はほとんど毎日1組ずつ外国人利用者の方があり、きのう統計を取りましたら、史上最高の1カ月で69人の外国人の方が利用していました。これだけの外国人の方に利用してもらうとなると、クールジャパンを求めて利用されますよね。ではクールジャパンとは何かというと、やはり和食だったりするのですが、その和食を提供する調理師の方が全く確保できません。調理師は、オリンピックのために東京圏に行ってしまうからなのでしょうか、地元に残りません。パティシエは多いみたいですけれども、特に和食の調理師がいません。ですから、クールジャパンを提供できなくなってしまいます。

さらに、我々のような小さな旅館では、外国人の方に合わせるのではなく、外国人の団体が来るわけではないので、外国人のお客様にこの旅館はこういう旅館なのだと合わせてもらうしかないのですが、その中でもお客様の満足度を高めるためには、やはりおもてなしが必要だと思うのです。ところが、そのおもてなしをする人間もいないし、それからお料理をつくる人間もいないということで、本当に苦労をしております。

それで、先ほど外国人労働者というお話があったのですが、果たしてこの外国人労働者の現状というのはどういうものなのか、どのくらいの人たちが来ているのか、どんな分野に就職しているのか、それから一体それはどういうルートによって来るのかということがもしわかれば、教えていただきたいと思います。

人がいないけれども、きちんと社員には休みを取ってもらわなければいけないと思っており、去年までは社員同士で休みを決めてもらっていたのですけれども、やはりそれでは、あの人ばかり働いて、私が休むわけにいかないというようなことになりますので、今は私が社員に希望を出してもらってから、あなたはこの日、この日と全部振り分けて、全員が必要な休日を消化しています。そうなると、しわ寄せが来るのが社長と私です。社長が布団敷きをやります。私は朝から早番で7時に行って夜9時までというように、早番、遅番の人が足りない部分を補うといったことにならざるを得ないということで、四苦八苦、いつまでこれが続くのだろうというような不安を感じています。どうしていいのかわからないのですが、皆さんからいい知恵を出していただいて、いい方向に進めばいいなと思っております。

○谷藤邦基部会長　ありがとうございました。

ただいま各委員から御発言いただいたのですが、その短い御発言の中にも課題がかなり見えてきたような気がいたします。当面はいろいろな課題や検討すべきポイントを洗い出していくことが必要で、その辺りが次回の議題の中心になるのかなと思っております。私はもともとシンクタンクにいたものですから、皆さんの話を伺いながらいろいろ質問したい衝動をこらえながら聞いていたところで、おそらくそれぞれを深掘りしていくだけでも

かなりの問題点が出てくるのだろうと思っております。その辺りは次回に向けて、事務局のほうにも整理をしていただきながら、さらに深めていければいいのかなと思っております。

ここまでで何か委員の皆様から御質問、御意見等ございますでしょうか。特にないようでしたら、進行を事務局へお返したいと思います。

４　閉　会

○小野政策地域部政策推進室政策監　谷藤部会長、進行ありがとうございました。

先程委員の皆様から御発言いただいた中で確認ですけれども、黒沢委員からお話のありましたデータについて、求人の内訳、収入の内訳のどちらということでしたでしょうか。

○黒沢惟人委員　求人についてお願いします。収入よりも求人の方が大きな意味を持つと考えております。

○小野政策地域部政策推進室政策監　わかりました。どこまで深掘りできるか、検討させていただきたいと思います。それから、Ｕターン者の要因と言いますかについても、少し粗い数字になりますけれども、押さえてございます。

それから、林委員のほうから外国人労働者のデータということで、これにつきましても庁内で調べてみたいと思います。

今のような形で、さまざまデータ、資料等ございましたら事務局のほうにお知らせいただければと思っております。

○五日市知香委員　すみません。私は収入について知りたいです。平均でもいいのですけれども、農業者の方や漁業者の方、林業関係の方、さまざまな分野での賃金がどのようになっているか。

○小野政策地域部政策推進室政策監　わかりました。それでは、産業分野ごとの収入がどういう形となっているか。収入、所得、その辺りについて整理して、一般的なデータあるかと思いますので、お示ししたいと思います。

○森奥信孝委員　男女別でもお願いできますでしょうか。

○小野政策地域部政策推進室政策監　ちょっと確認してみたいと思います。

以上、今のような形であらかじめ資料、先程お話しした分析資料等もあらかじめお届けしたいと思います。

12 月の部会につきましては、できるだけ早く担当のほうから御連絡したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日この後 14 時 30 分から若者部会を開催いたしますので、御参加の委員におかれましては、恐れ入りますけれども、３階の「かきつばた」のほうに御移動をお願いいたします。

それでは、以上をもちまして本日の第１回の仕事部会を閉じさせていただきます。本日はありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。